

型 試 合 規 則

※予選・本戦「旗判定」によるトーナメントとします。

※判定基準値は、大会協力委員会指定に準ずるものとする。

		予選型	本戦型(選択)
幼年部	白、橙帯	太極1	太極3/平安1
小学初級	白、橙帯	太極3	平安1/2
小学中級	青、黄帯	平安1	平安2/3
小学上級	緑帯以上	平安2	平安4/5
一般部	中学以上女子壮年含	平安5	※印参照

※一般部選択型 最破 臥竜 十八 征遠鎮 観空

※予選・本戦ともに「旗判定」にて勝者を決定する。

※判定基準値は、大会協力委員会指定に準ずるものとする。

【判定基準と原則】

当大会の判定基準は、次の三項目に集約されます。

一、技術力 二、演技表現力 三、実戦性の三項目の順に判定評価します。

当大会は、さらなる「技術力の向上」と武道性の追求に重きを置きます。

ただの「力任せでのっそりした演武」では、武道と言えません。

「実戦性」とは、あくまで確かな技の上に成り立たねばなりません。

よって判定基準の優位性は一、二、三の順とします。

【型 試 合 進 行】

1)予選は「二人同時」に主審の号令の元に同じ型を行う。

本戦ベスト8以降は、赤白それぞれ一人ずつ中央にて演武を行う。

2)一人ずつ行う場合、主審の号令の後「自分の間」にて「黙想」ついで「型の名称」を自分で呼称し演武に入る。

3)演武終了後、残心をとり結び立ちとなり直る。

この際、直れの号令はない。

4)自然体に戻り、主審の号令により「礼」をして終了、定位置に戻る。

☆演武中、型の手順の間違い等があっても、最後までやり通すことが原則

但し、10秒以上立ち止まった場合、主審判断により「失格」となり、

そこで演武終了となる。